

安全確認チェックリスト【登山】

競技会名	
期日	
会場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設 設備 用具	計画は、時期に適した装備・幕営地の情報・幕営地までの行程などが考慮されているか。また、生徒の体力にあった登山計画になっているか。	
	個人・共同装備のチェックを行っているか。防水も考慮されているか。	
	テント場の施設がどのようなものか(水場、トイレ、売店の有無、公衆電話、ネット環境、充電の可否等も含む)チェックしてあるか。	
	装備の点検は十分か。器具は作動確認、テントは組み立て確認をしたか。	
	医療品や救急用具などの使用法、対処法を理解しているか。	
	食料は必要量(行動食・予備・非常食も含め)確保できているか。	
	電子機器については、バッテリー残量の確認、充電の際の電源が確保できているか。予備電池を所持したか。	
活動 内容	山域の地形図を準備し、エスケープルートを含めたコースの熟知、危険箇所等注意点を確認したか。	
	行程の中に、行動をチェック(登山道の様子や付近の気象、行動の継続か撤退か)するポイントがいくつか設定されているか。	
	行動経路全般について、現状を確認できているか。	
	山域の気象情報を手に入れているか、山域の近いところで大雨等による自然災害は起きていないか確認したか。	
	現地の小屋やビジターセンター等に照会するなどして、山域の最新情報を把握しているか。特に火山域の場合、最新の火山情報の収集に努めたか。	
	参加者の健康状態(疾病歴・既往歴など)を把握しているか。	
	役員の役割分担は明確か。各自の役割を理解し、適切に行動できるか。	
	天候が急変した時の行動変更の内容と、判断基準が共有されているか。	
	学校・大会本部の段階に応じ、各個人の緊急連絡先が把握されているか。	
環境 条件等	山域の気象の特徴を把握できているか。	
	急な天候の悪化、自然災害への対応について参加者は理解しているか。	
	危険動植物への対応について参加者は理解しているか。	
その他	開催地の警察署、消防本部との連携はとれているか。	

反省・報告（事故、ヒヤリハットなどを含む）

大会終了後に事務局に提出